

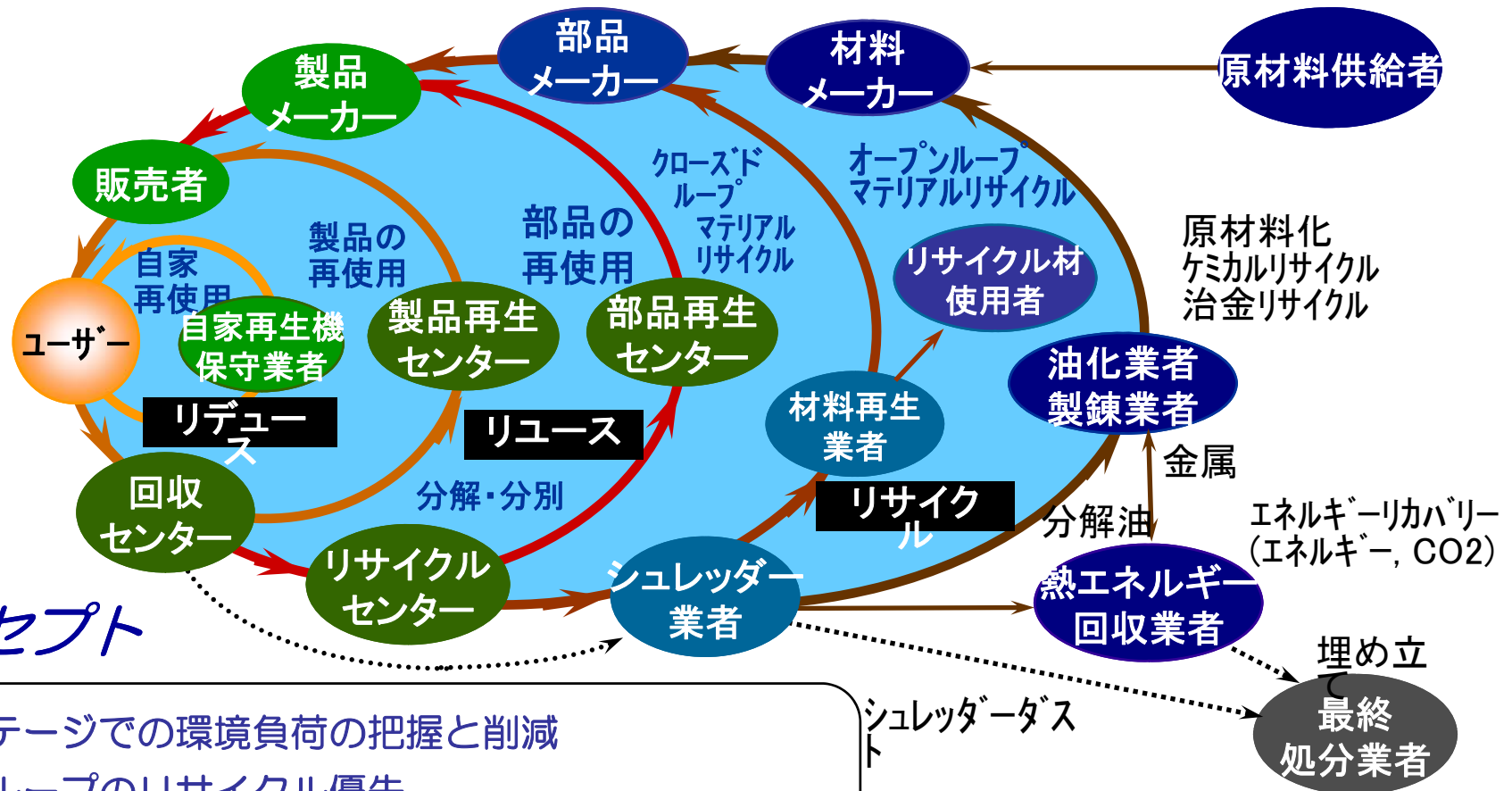
## 基本方針

リコーグループは、環境保全は我々地球市民に課せられた使命と認識するのみならず、環境保全活動と経営活動を同軸であるにとらえ、自ら責任を持ち、全グループをあげてその活動に取り組む。

## 行動指針

1. 自らの責任において、目標を設定する
2. 技術革新により環境負荷を低減する
3. すべての事業活動において環境負荷を低減する
4. 商品とサービスの提供にあたっては、全てのプロセスで環境負荷低減に努める
5. 環境に対する全社員の意識向上を図る
6. 積極的に情報開示し、社会に貢献する

## 『コメットサークル™』



## コンセプト

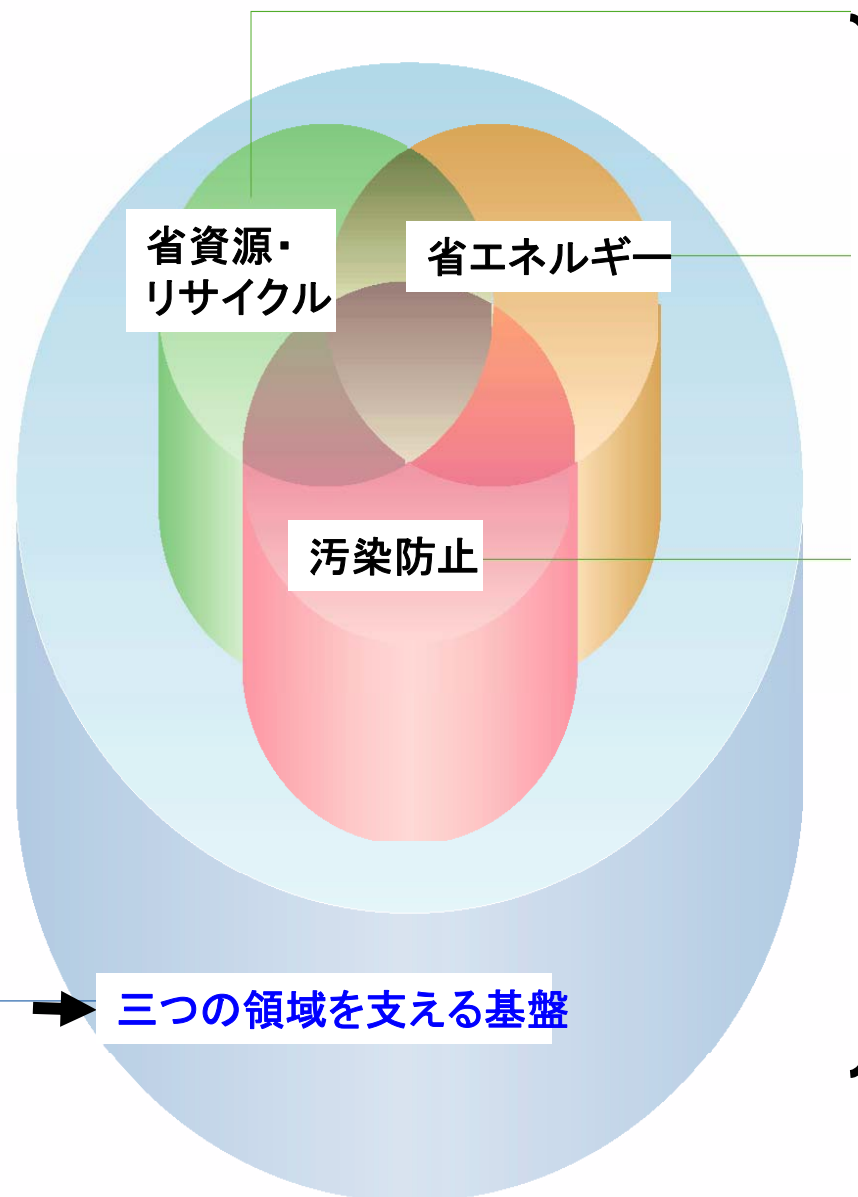
- (1) 全ステージでの環境負荷の把握と削減
- (2) 内側ループのリサイクル優先
- (3) 重層的リサイクル
- (4) 経済合理性の確保による自律的循環の保証
- (5) 全てのステージとのパートナーシップ・情報の共有

© 1994 RICOH Co., Ltd.

# 環境保全活動の対象領域「三つの領域と基盤」

リコーグループは製品と事業所にかかわる**三つの領域**を基盤(インフラ)で支えています。

- 1. 環境マネジメントシステム
- 2. 環境経営情報システム
- 3. 環境会計
- 4. 人事制度
- 5. 環境社会貢献
- 6. 安全衛生
- 7. 環境コミュニケーション
- 8. 環境教育・啓発



## <対象領域>

- ・省資源・リサイクル
- ・省エネ
- ・汚染防止

## <活動主体>

- ・製品
- ・事業所

## <活動内容>

- ・環境技術
- ・日常の管理改善

## ■環境保全活動の3ステップ (環境保全から環境経営へ)



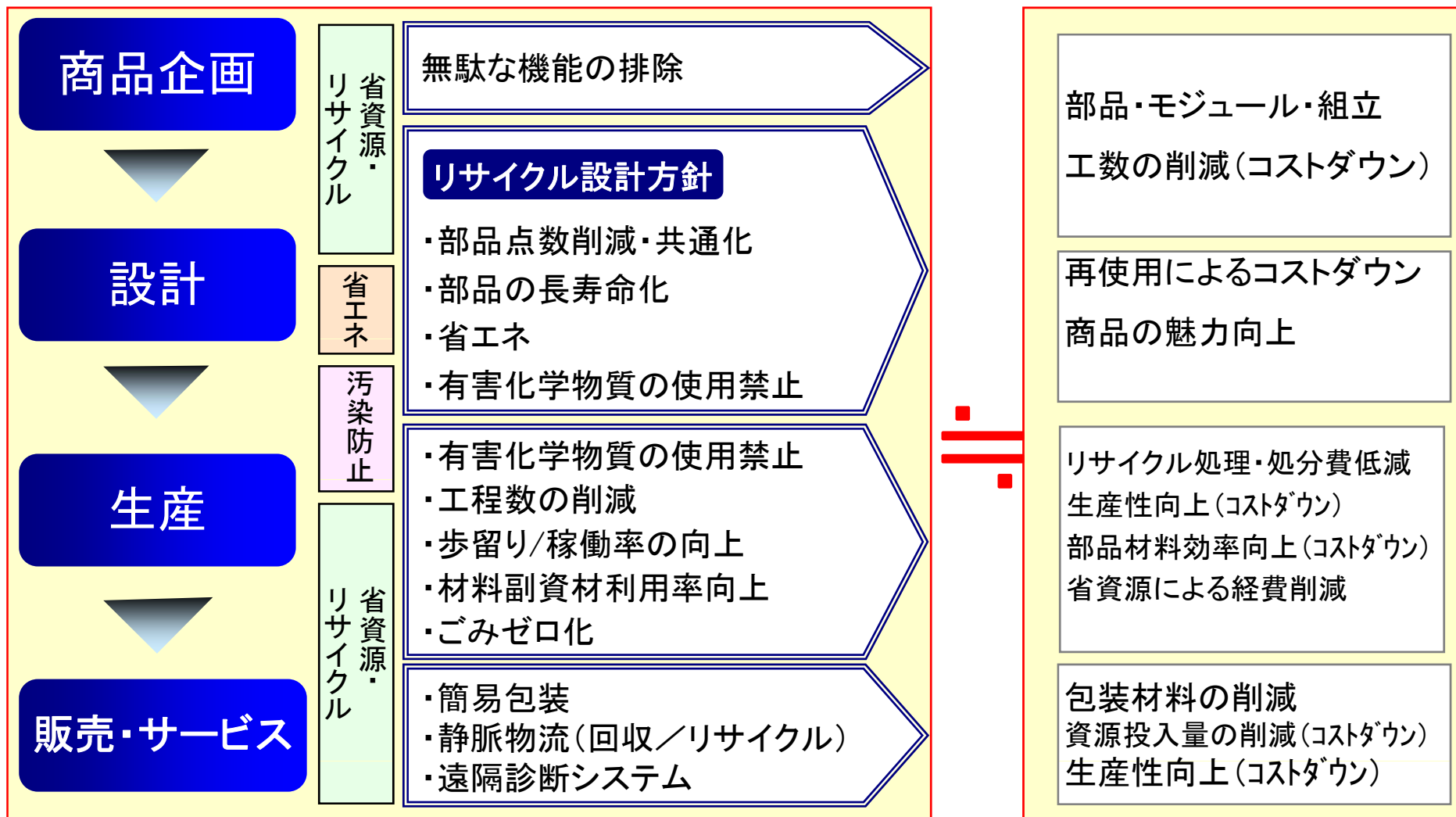
<p><b>狙い</b> (コンセプト)</p>	<p>圧力への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法規制</li> <li>・競合</li> <li>・お客様...</li> </ul>	<p>地球市民としての使命</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主責任</li> <li>・自主計画</li> <li>・自主活動</li> </ul>	<p>環境保全と利益創出の同軸化</p>
<p><b>活動内容</b></p>	<p>法規制、競合、お客様に追随した消極的な活動</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高い目標を掲げた積極的な地球環境負荷低減活動             <ul style="list-style-type: none"> <li>・省資源リサイクル</li> <li>・省エネ</li> <li>・汚染防止</li> </ul> </li> <li>2. 社員一人一人の意識改革</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全員参加の環境保全活動 ≡ QCD達成活動</li> <li>2. 環境技術開発</li> </ol>
<p><b>ツール</b></p>		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ISO14000シリーズ</li> <li>2. LCA</li> <li>3. 環境ボランティアリーダー養成システム</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 戦略的目標管理制度</li> <li>2. 環境会計</li> <li>3. 環境経営情報システム</li> </ol>

# ライフサイクル環境負荷を考慮した製品づくり RICOH

－ 環境保全と利益創出活動は同軸 －

＜環境保全＞

＜利益創出＞



環境経営